

様式第四

土石の堆積に関する工事の許可申請書

<p>① {第 12 条第 1 項} {第 30 条第 1 項} の規定により、許可を申請します。</p> <p>×年×月×日</p> <p>鹿児島県知事 ×× ×× 殿</p> <p>申請者 氏名 株式会社カゴシマケン</p> <p>代表取締役 鹿児島 太郎</p>		<p>③ ※手数料欄</p> <p>記入 しない</p>							
1	<p>工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)</p> <p>鹿児島県霧島市隼人町小田××番地 株式会社カゴシマケン 代表取締役 鹿児島 太郎 (役員4名：暴力団等に該当しない旨の誓約書参照)</p>	④							
2	<p>設計者住所氏名</p> <p>鹿児島県始良市宮島町××番地 株式会社アイラ設計事務所 代表取締役 加治木 三郎 設計者：蒲生 次郎</p>	⑤							
3	<p>工事施行者住所氏名</p> <p>鹿児島県霧島市国分野口××番地 株式会社キリシマ建設 代表取締役 日当山 四郎</p>	⑥							
4	<p>土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)</p> <p>鹿児島県霧島市溝辺町麓××番地 外●筆 (緯度：31度××分××秒×、経度：130××分××秒×)</p>	⑦							
5	<p>土地の面積</p> <p>1,000.00 平方メートル</p>	⑧							
6	<p>工事の目的</p> <p>ストックヤード</p>	⑨							
7 工 事 の 概 要	<p>イ 土石の堆積の最大堆積高さ</p> <p>3.00 メートル</p>	⑩							
	<p>ロ 土石の堆積を行う土地の面積</p> <p>500.00 平方メートル</p>	⑪							
	<p>ハ 土石の堆積の最大堆積土量</p> <p>1,200.00 立方メートル</p>	⑫							
	<p>ニ 土石の堆積を行う土地の最大勾配</p> <p>3/10</p>	⑬							
	<p>ホ 勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置</p> <p>構台を設置</p>	⑭							
	<p>ヘ 土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置</p> <p>・砂質土の敷き均し及び締固め ・浅層混合改良</p>	⑮							
	<p>ト 空地の設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>空地の幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4メートル</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6メートル</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	空地の幅	1	4メートル	2	6メートル		
番号	空地の幅								
1	4メートル								
2	6メートル								
チ	<p>雨水その他の地表水を有効に排除する措置</p> <p>空地の外側に側溝を設置</p>	⑰							

リ	堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼矢板を設置(番号①、高さ 3 m、延長 5 m) ・ 堆積した土石を防水シートで被覆 		⑱
ヌ	工事中の危害防止のための措置	工事区域をフェンスで囲う		⑲
ル	その他の措置	なし		⑳
ヲ	工事着手予定年月日	×年×月×日		㉑
ワ	工事完了予定年月日	×年×月×日		
カ	工程の概要	○月 構台設置工、○月 盛土工		㉒
8	その他必要な事項	○○法○条の許可を取得済み		㉓
※受付欄		※決裁欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
年 月 日		記入しない		年 月 日
第 号				第 号
係員氏名				係員氏名
<p>〔注意〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 3 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 4 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 5 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 6 7 欄りは、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。 7 8 欄は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。 				

記入方法

- ① 【第 12 条第 1 項又は第 30 条第 1 項】 該当しない条文番号を抹消してください。

法条文番号	内容
第 12 条第 1 項	宅地造成等工事規制区域内において行われる工事
第 30 条第 1 項	特定盛土等規制区域内において行われる工事

- ② 【申請者】 工事主が申請者となります。（工事主とは、工事の請負契約の注文者又は自ら工事をする者となります。）法人であるときは、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ③ 【手数料】 記入は不要です。
申請の際には、土石の堆積を行う土地の面積に応じた手数料が必要となります。
- ④ 【工事主住所氏名】 工事主が法人であるときは、工事主の住所氏名のほか、法人役員の住所氏名を記入してください。（役員が複数名の場合は、記載例のとおり。）
- ⑤ 【設計者住所氏名】
設計者が法人に所属する場合には、その法人の住所名称も記入してください。
- ⑥ 【工事施行者住所氏名】 工事施行者が申請時点で確定せず未定とする場合は「未定」と記入し、工事着手までに工事施行者の能力を証する書類を提出し、工事施行能力に係る審査を受けてください。
- ⑦ 【土地の所在地及び地番】 土地の登記事項証明書に記載された所在・地番を記入してください。
なお、工事区域が 2 筆以上の場合には、「外●筆」と記載してください。
また、緯度経度については、土石の堆積の高さが最大となる箇所を代表地点とし、緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第 1 位まで記入してください。
- ⑧ 【土地の面積】 「4 土地の所在地及び地番」欄の土地の総面積（実測による）を記入。
ただし、地積調査が完了している等、当該土地の境界及び面積が確定している場合は、土地の登記事項証明書に記載された面積の記入に代えることも可能です。
- ⑨ 【工事の目的】 以下の①～⑤から該当する内容を記入してください。

工事の目的
①ストックヤード、②処理済み廃棄物、③土石が製品になる工場、 ④工事に付随する土石の堆積、⑤その他（上記に含まれないもの）

「④工事に付随する土石の堆積」の場合には、その工事名と工事期間について合わせて記入してください。（例）〇〇〇〇建設工事に伴う土石の堆積 〇年〇月〇日 ～ 〇年〇月〇日
また、「⑤その他」の場合は、具体的な内容を合わせて記入してください。

- ⑩ 【土石の堆積の最大堆積高さ】 実際に土石の堆積を行う最大の高さ（計画における最大値）を記載してください。（許可対象規模判定高さ）
小数点以下第 3 位を四捨五入して、小数点以下第 2 位まで記入してください。
- ⑪ 【土石の堆積を行う土地の面積】 実際に土石の堆積を行う部分の総面積（計画における最大値）を記載してください。（許可対象規模判定面積及び手数料算定面積。面積は堆積する前後の地盤面の標高の差が 50 センチメートル以下となる箇所も含まれます。）
小数点以下第 3 位を四捨五入して、小数点以下第 2 位まで記入してください。
- ⑫ 【土石の堆積の最大堆積土量】 実際に土石の堆積を行う最大の土量を記載してください。
（土量は堆積する前後の地盤面の標高の差が 50 センチメートル以下となる箇所も含まれます。）
小数点以下第 3 位を四捨五入して、小数点以下第 2 位まで記入してください。
- ⑬ 【土石の堆積を行う最大勾配】 分子を 1 とする分数又は百分率（%）で記入してください。
（例：「1/20」、「10%」など）
- ⑭ 【勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置】 原地盤の勾配が 1/10 を超える箇所への構台等の設置について記載してください。

⑮【土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置】地表水等による地盤の緩み等が生じるおそれがある場合は、実施する地盤改良等の措置を記載してください。

⑯【空地の設置】平面図等で位置を確認できるよう番号を付し記載してください。数が多い場合には別紙としてください。

堆積する土石の最大高さ(H)	空地の幅	備考
5 m以下	H超	空地を設けることができない場合は、⑰の措置の記載が必要。
5 m超	2H超	

⑰【雨水その他の地表水を有効に排除する措置】地表水を適切に排除するための側溝の設置等について記載してください。

⑱【堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置】必要な空地を設けることや立入り防止措置を講ずるできない箇所に実施する鋼矢板の設置等の措置について記載してください。鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等について平面図等で位置を確認できるようそれぞれ番号を付し、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。

⑲【工事中の危害防止のための措置】工事中の危害防止のための措置について記入してください。
(例「工事区域をフェンスで囲う」、「土嚢等で土砂の流出を抑える」等)

⑳【その他の措置】他の欄に記載しているものの他、特筆すべき措置を実施する場合は記載してください。

㉑【工事完了予定年月日】年月日の記入又は許可取得後速やかに工事に着手する場合は、「許可の日の翌日」又は許可日より相当期間をおいた予定日を記入してください。(例「許可の日より10日以内」)

工事着手予定年月日から5年間を超える土石の堆積は認められません。

(例) 工事着手・完了予定年月日を許可取得日の次の日とした場合

	記載例	許可取得日が 令和7年5月26日の場合
工事着手予定年月日	許可取得日の次の日	→ 令和7年5月27日
工事完了予定年月日	許可取得日の次の日から5年	→ 令和12年5月26日

㉒【工程の概要】工種が多い場合は、「別紙工程表のとおり」と記入してください。

㉓【その他必要な事項】土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合のみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください